

## 臨地実習【母性看護学実習】

|                                                      |                               |     |     |
|------------------------------------------------------|-------------------------------|-----|-----|
| 所属/担当教員                                              | 衛生看護学院 看護科 教員                 |     |     |
| 対象学年/開講時期                                            | 第3学年/通年                       | 単位数 | 2単位 |
| 履修の目的<br>女性のライフサイクルを理解し、各期における対象の健康維持増進のための看護が実践できる。 |                               |     |     |
| 授業の形式                                                | 臨地実習                          |     |     |
| 授業評価の基準等                                             | 出席状況および実習状況を評価表に基づいて総合的に評価する。 |     |     |
| 教科書・参考図書                                             | これまでの看護全般の講義で使用したテキストおよび資料    |     |     |

### 【授業計画・内容】

#### 実習目標

- 1) 妊娠、分娩、産褥の正常な経過を理解し、妊婦、産婦、褥婦の健康問題を査定し実施評価できる。
- 2) 新生児の生理を理解し、新生児の胎外生活適応への援助ができる。
- 3) 母性看護学実習を通して母性（父性）意識が発展できる。
- 4) 保健医療チームの一員としての役割を理解できる。

#### 実習内容（詳細については実習要綱の「母性看護学実習」を参照）

実習施設：平鹿総合病院、産前産後ケアハウスここはぐ

実習方法：

##### 1) 産科病棟実習 9日間

- (1) 病棟に入院している妊婦、産婦、褥婦と新生児を対象に、母性看護における基本的なアセスメント方法や具体的な看護技術について実践する
- (2) 褥婦とその新生児を1例受け持ち、看護過程を展開する。
- (3) 分娩見学を行い、学んだことや生命誕生の喜び、命の尊厳について学びを深める。
- (4) 小集団保健指導（沐浴指導）を指導者と共に計画し、実践する。
- (5) 実習中盤から後半にかけてケースカンファレンス、テーマカンファレンスを実施し学びを共有する。
- (6) 実習最終日にまとめのカンファレンスを実施し、学びを共有する。
- (7) 妊婦健康診査において妊婦を1例受け持ち、保健指導や診療補助を含む看護技術について学びを深める。

##### 2) 産前産後ケアハウスここはぐ 1日間

- (1) 産前産後ケアハウスにおいて、母子にどのような支援が行われているか理解する。
- (2) 妊娠期から育児期の女性が求める支援内容と、支援の実践を理解する。